

再会

森野 水琴

「ただいま」と言って男は女の家に入る。

「おかえりなさい」と言って女は男を迎える。

男が東京に単身赴任して女と付き合い始めてから、女の家で幾度となく繰り返された挨拶である。

男は地元で転勤となり、たまに東京出張で女の家泊まる。

ふたりとも再会を喜んだのも束の間、また逢いたくて切なくなる。切なければ切ないほど、ふたりは高まっていく。

その頃 地元では男の妻が 男の単身赴任中に知り合った男性と眠らぬ夜を過ごしていることを 男は知らない